

どんな時も人を大切に想い、諦めずに挑戦し続けることが成功を導く

イベント企画 メイクハピネス 代表 黒田まき絵氏

「人に驚きと喜びを与えられて、それを仕掛ける私たち自身も楽しめる。関わる人すべてが自然と笑顔になる。それがサプライズの良さだと思います」と、満面の笑顔で語ってくれた【イベント企画 Make, Happiness】代表の黒田まき絵さん。彼女もまた例に違わず、苦しい時期を何度も乗り越えて今が在るのだ。



■26歳で2,000万円の借金を背負った

実は20代の頃すでに飲食店を経営していました、当初は時代のいい波もあってうまく事が運んでいたんですね。でも、実際には何のノウハウもないままに勢いだけで突っ走ってしまっていたので、すぐに2店舗目は赤字に…。さらに、実の父がつくった借金を私が肩代わりすることになり、あえなく店は閉じることになりました。



■まず自分が本気で相手と向き合うこと

その後、別会社で正社員になり、エリアマネージャーを任されるまでになりました。最後は会社の意向に添えなくなったため自ら退きましたが、私はここで数え切れないほどの財産を得ていました。それは、苦手な事務仕事を経験したり、店舗運営のノウハウやマネジメントを学んだり、遅ればせながら“経営”に必要な事柄を身に付けたこと。そして、もっとも誇るべきは「人＝仲間」です。彼らはかつて私が厳しく鍛えた担当店舗の店長や部下たちで、私が着手する（予定の）新規事業の立ち上げに加わりたいと申し出てくれたんですね。常に人と本気で向き合い、どんな状況でも前向きに取り組む姿勢を貫いて良かったと、彼らのような仲間を得て実感しました。



■成功体験が与えてくれた挑戦する勇氣

当時私は一人で子育てをし始めたところでしたし、さすがに「どうしたらいいのだろう…」と途方に暮れました。でも、どんなに悩んでも考えても、その時間が問題を解決してくれるわけではありませんから、思い切って、歩合制で給与を支払ってくれる営業職にチャレンジしました。最初の月は契約が1件もとれず、借金を返すどころではありませんでした。でも負けず嫌いの性分もあって、成績の良い先輩に同行させてもらうなど、お客様の心をつかむ方法を自ら工夫しました。すると翌月以降は月収100万円超を成し遂げ、借金は2年で完済させられたのです。これにより、「やればできる」という成功体験と何事にも挑戦してみる勇氣を得たように思います。



■諦めないこと、挑戦すること、感謝すること

事業を立ち上げた直後に私は事業を立ち上げてからずっと守っていることがあります。それは、部下のミス自体については、本人も故意にしたことではないので叱らない、ということ。その代わりに部下に伝えて続けていることはい訳をしない、人のせいにはしない、同じミスは3回まで、モチベーションの上下で周囲を乱さない、です。それが今のチームワークの秘訣になったのではないかと感じています。その根底にあるのは、私を支え育てくださるすべての方への感謝の気持ちと諦めずに挑戦し続ける強い心だと思っています。

創業6年が経過した現在、映像制作、ブライダルプロデュース、イベント企画、企業向けセミナー開催、ギフトショップなどを手掛け、口コミだけで顧客の心をつかんできた同社。どんな窮地でも前を向いて歩む黒田さんのパワーこそ、人々を惹き付ける最大の魅力なのだろう。

黒田まき絵氏(くろだまきえ)
イベント企画
Make, Happiness 代表

両親の離婚により親戚に預けられるなど、孤独な幼少期を過ごした。だからこそ、意見をストレートに述べ合えるスタッフは何よりの宝物だ。

